

トレンドの種

2025年10月

1. エネルギー業界

- ・洋上風力発電からの撤退に対する言及が目立つ
- ・報道の注目ポイントは自民党総裁選

国内企業が洋上風力発電から撤退していることについて、経産相が厳しく言及するといった露出もみられた。

自民党総裁選ではエネルギー政策が隠れた「争点」としてメディアが注目。

1. 先月から継続しているトピック

- | | |
|---------|-----------|
| ・メガソーラー | ・洋上風力発電撤退 |
| ・脱炭素 | ・原発再稼働 |

2. 今月の注目ワード

- | | |
|-----------|-----------|
| ・自民党総裁選 | ・島根で蓄電事業 |
| ・アンモニア発電 | ・韓国「脱原発」 |
| ・高市総裁 | ・中部電力ミライズ |
| ・万博シャトルバス | ・地熱発電 |

他

5. 不動産・物品賃貸業／エリア開発・建設

- ・中古一戸建てが人気
- ・核家族、おひとりさま向けに平屋住宅
- ・「民泊」の弊害、顕在化
- ・【億ション乱立】3億～5億円は当たり前

住宅価格の高騰が続き、「中古」「中古一戸建」「駅から10分」も検討対象に。マンション投資や沿線ランキングなどの話題も高水準。

「民泊」急増でイメージ低下の有名エリアの実態レポートや大阪府の方針転換なども記事化。

その一方で「住宅AIコンシェルジュ」の登場など、明るい話題も。

1. 先月から継続しているトピック

- ・マンション価格高騰、首都圏以外に拡大中
- ・タワマン人気続く
- ・住宅ローンへの関心

2. 今月の注目ワード

- ・約4割が選ぶ住宅の「ペアローン」
 - ・相次ぐ法改正で持ち家が不利に!?
 - ・【マンション】北向きの部屋が最も値上がり
 - ・もう大学生は東京23区に住めない!?
 - ・東京のマンション、買ったら下がる「新築プレミアム」とは?
 - ・注目の“激セマ物件”とは？
- 他

2. 航空・海運・運輸・輸送

- ・日本郵政に配送用軽貨物車の使用停止処分
- ・万博に採用された中国製EVバスに問題続出

一般車両に続き、配送用の軽車両の使用停止処分を受けた日本郵政。需要は減少しているとはいえ、お歳暮や年賀状の配達は大丈夫？

多くの不具合が発生している中国製EVバス。国産と称し大阪万博に採用されるなど、運営企業の悪質性が次々と明らかになっています。

1. 先月から継続しているトピック

- ・日本郵便、配送用軽貨物車の使用停止処分
- ・堀江貴文氏、トキエア取締役役に就任
- ・新千歳空港の駐車料金が大幅値上げ

2. 今月の注目ワード

- ・万博で採用の中国製EVバスにトラブル続出
- ・日本郵便、ロジスティードに出資
- ・航空連合に初の女性会長が就任
- ・ホンダジェット、100%SAF使用の試験飛行に成功
- ・中国、北極海航路で英国へ初輸送
- ・近鉄とJR東海が伊勢志摩エリア活性化で協力
- ・宇都宮LRT延伸計画見直し
- ・リニア工事早期再開の可能性は？

他

3. 小売り・流通

- ・コンビニおにぎりの巨大化が拡大
- ・イオングループの業績が好調

米価の高騰が続く中、コンビニおにぎりのサイズが拡大傾向に。割安で種類が豊富なおにぎりの巨大化・プレミアム化は今後も続く！？

イオンの決算は値下げ戦略が功を奏し、売上・利益ともに過去最高に。まいばすけっとを含め、イオングループの攻勢が続いています。

1. 先月から継続しているトピック

- ・ファミマの衣料品売り上げが好調
- ・ミニストップ、店内加工を再開へ

2. 今月の注目ワード

- ・百貨店4社、9月の売上は7か月ぶり増収
- ・イオン、割安PB商品が好調で好決算
- ・百貨店のインバウンド消費の失速が顕著に
- ・コンビニ中間決算、大手3社で明暗分かれる
- ・コンビニおにぎりの巨大化・プレミアム化が続く
- ・イオン、値下げ戦略で中間決算好調
- ・まいばすけっとが出店を加速

他

4. 自動車・バイク

- ・24年ぶり復活のプレリウドの受注が好調
- ・自動車中間決算は6社が前年割れ

ホンダ・プレリウドは受注が好調で早くも増産体制だとか。50・60代の購入が多いようで、発売当時を知る方への人気の高さが伺えます。

25年上半期世界販売台数が発表され、トヨタ系以外の6社は前年割れに。一方、トヨタは2年ぶり過去最高・・・トヨタばかりがなぜ強い？

1. 先月から継続しているトピック

- ・ホンダ・プレリウド、受注好調

2. 今月の注目ワード

- ・中国BYD、日本市場で販売が伸び悩み
- ・テスラが四半期販売台数で過去最高を記録
- ・規制強化による生産終了で原付バイク駆け込み需要増加
- ・三菱ふそうと日野自動車の経営統合が最終合意
- ・日産、新型リーフが受注開始
- ・フェラーリ初のBEV車が来春発売へ
- ・トヨタ・ランクルが小型化し発売
- ・上半期世界販売台数は自動車6社が前年割れ

他

5. 不動産・物品賃貸業／エリア開発・建設

- ・中古一戸建てが人気
- ・核家族、おひとりさま向けに平屋住宅
- ・「民泊」の弊害、顕在化
- ・【億ション乱立】3億～5億円は当たり前

住宅価格の高騰が続き、「中古」「中古一戸建」「駅から10分」も検討対象に。マンション投資や沿線ランキングなどの話題も高水準。

「民泊」急増でイメージ低下の有名エリアの実態レポートや大阪府の方針転換なども記事化。

その一方で「住宅AIコンシェルジュ」の登場など、明るい話題も。

1. 先月から継続しているトピック

- ・マンション価格高騰、首都圏以外に拡大中
- ・タワマン人気続く
- ・住宅ローンへの関心

2. 今月の注目ワード

- ・約4割が選ぶ住宅の「ペアローン」
 - ・相次ぐ法改正で持ち家が不利に!?
 - ・【マンション】北向きの部屋が最も値上がり
 - ・もう大学生は東京23区に住めない!?
 - ・東京のマンション、買ったら下がる「新築プレミアム」とは?
 - ・注目の“激セマ物件”とは？
- 他

6. 行楽・レジャー・宿泊

- ・インバウンドは「民泊」「マナー」話題増加
- ・「食欲の秋」に連動した情報
- ・大阪万博終了の余波、ミyakumiyaku人気

インバウンド報道内でオーバーツーリズムや人手不足、円安の弊害といったテーマから、民泊の弊害や地域格差なども目に付くように。国内人気スポット話題も「芸術」「食」「絶景」などをベースに堅調。「eスポーツ大会」「キッズ仮装の聖地」「フェリー・バスに脚光」など、新しいピック/テーマも登場。

1. 先月から継続しているピック

- ・オーバーツーリズム
- ・行楽の秋、食欲の秋...
- ・海外旅行×円安インパクト
- ・相次ぐ観光地のクマ被害

2. 今月の注目ワード

- ・シイタケ狩りが大盛況
- ・企業の福利厚生「社員旅行」がトップ！
- ・米メディアがオススメ山形県
- ・淀屋橋が一大観光地に？
- ・「穴場の紅葉スポット」
- ・インバウンド客による「ヘルプマーク」悪用
- ・「ミライ人間洗濯機」量産化決定

他

7. 飲食サービス／グルメ

- ・アサヒHDシステム障害はビール他社にも影響
- ・食にスポットを当てたドラマに関心集まる

アサヒHDのシステム障害は、同社の欠品だけでなく麒麟やサッポロの出荷にも影響を与えていることが報じられている。

ドラマ「じゃあ、あんたが作ってみろよ」は食に関する「あるある」と男女関係が絡み合い、メディアも人気を取り上げている。

1. 先月から継続しているトピック

- ・米価格
- ・万博グルメ

2. 今月の注目ワード

- ・ディップグルメ
- ・ペットボトル200円時代
- ・アサヒHDシステム障害
- ・麒麟「グッドエール」
- ・サバ缶
- ・牛丼チェーン「ファミレス化」
- ・福井県「フードロス対策」
- ・やよい軒「おかわり無料」続けるワケ
- ・ドラマ「じゃあ、あんたが作ってみろよ」

8. 教育・学習支援

- ・先月の教員不祥事や部活動でのハラスメントが続けて取り上げられている他、「ムスリム給食」の話題も継続して炎上の様子が報じられている。

教職員による性犯罪が特に多く取り上げられた月だった。

「クイズ甲子園」や中学受験で思考型の問題が増えているとの報道がみられる。従来の対策が通用しなくなっているとして、トレンドの変化に言及。

1. 先月から継続しているトピック

- ・盗撮教員グループ
- ・部活動でのハラスメント
- ・受験難易度
- ・ムスリム給食

2. 今月の注目ワード

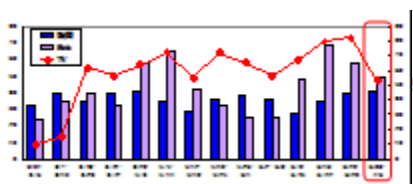
- ・冒険教育
- ・島根、IT人材教育の短大設立
- ・長崎県小学校の給食無償化
- ・学研「Duolingo English Test」公認単語集発売
- ・文科省「リーディングDXスクール」
- ・教育番組（パロディ）
- ・台湾語
- ・埼玉大学、授業料値上げ
- ・オンライン習い事「ヨンデミー」
- ・ChatGPT × オンライン学習

データムは

新聞・TV・雑誌・Webの報道を集め、
整理、分析いたします。

■新聞・Web・TV報道の検索と収集

ひと目で分かる報道件数の推移



キーワード毎の件数比較

キーワード	2021年	2022年	合計
脱炭素	6,130	9,062	42,647
SDGs	6,184	8,734	40,097
再生エネルギー	4,010	4,637	23,897

過去10年のWebニュースも検索可能！

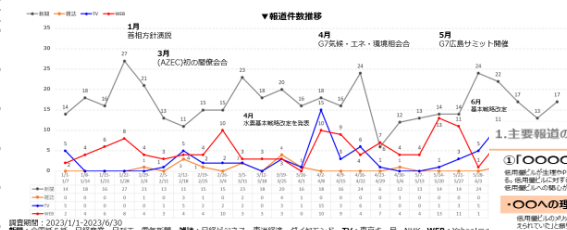
■報道と情報を整理し、分析します

報道の量的・質的分析
レポート形式でご提出

報道件数推移

新聞報道では新ビジネスに取り組む企業事例が連続して取り上げられており、1月と6月で報道量の大きな差はみられない。政府の動向に関心が集まっており、首相選考やG7サミット、基本戦略改定などのタイミングで報道が増加している。エネルギー政策に言及する報道が目立つ。

TV報道では「水素基本戦略改定」話題が複数回に取り上げられており、報道量を押上げていく。



1. 主要報道の整理・考察

①「○○○○○」話題まとめ

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

「○○○○○」が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

その他、

- ・競合分析
- ・キーワード分析
- ・リリース分析等